

# とんぐり

パークセンターだより 第97号 2009年6月・7月号

## シルクのドレスが着られるも この虫のおかげ?? ~ カイコの野生種クワゴ ~

自然解説員  
よしおが あきら  
吉岡 明良

5月に入り夏の足音も聞こえ始めたころ、雑木林や農地に木苺のような赤い実をつけた木々を見かけるようになります。そんな木を見かけたら近寄って葉をよく観察してみてください。大きく虫に食われたようないびつな形の葉をしていたら、その木は桑の木(ヤマグワやマグワ)です。この不思議な葉の形は虫に食われたわけではなく、生まれつきのものなのです。とは言っても桑の葉を食べる虫もたくさんいるわけで、21世紀の森と広場でもさまざまな種類を見ることができます。その代表的な虫のひとつが今回紹介するクワゴ、いわゆる「カイコ(カイコガ)のご先祖様」です。

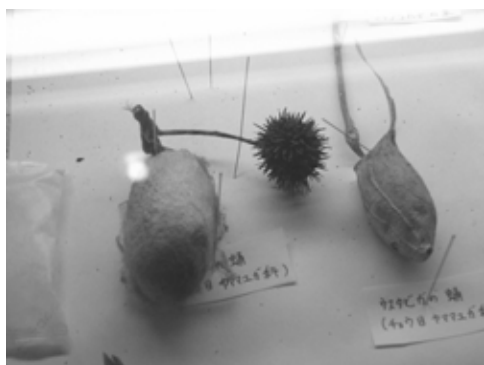
人には嫌われることが多い蛾の仲間でありながら、カイコはミツバチとならぶ偉大な益虫として重宝されてきました。カイコは幼虫から成虫になる時に立派な繭を作るのですが、それが高級な繊維である絹(シルク)の原料となるからです。カイコが最初に人に飼いならされるようになったのは五千年以上も昔であるとも考えられています。が、飼いならされる前の野生のカイコがさきほど述べたクワゴという種であるとされています。カイ



写真中央の鳥のフンのようにも見えるのがクワゴの幼虫(右側が頭)。右上の写真はヤマグワの葉

コはすっかり飼いならされてしまっているため、成虫になっても飛ぶことができません。幼虫にいたっては木の枝を移動して餌の葉っぱをさがすことすらできません。人が世話しないと生きていけないのです。一方、クワゴは野生種だけあって成虫はちゃんと飛べますし、人が手出ししなくても桑の木さえあれば立派に生きていけます。見た目はカイコの方が白っぽいというだけでそこまで変わりませんが、五千年の飼育の歴史は伊達ではないようです。

ちなみに飼いならされた馬や牛等の動物を家畜というように、カイコのことを「家蚕」と呼ぶことがあります。それに対して野生の絹糸を作り出す蛾の仲間を「野蚕」と呼ぶことがあるのですが、これはクワゴではなく、大型の蛾であるヤマ



ママユの仲間のことを指す場合が多いようです。中でも「天蚕」とも呼ばれるヤマママユは美しい黄緑の繭をつくり、その繭から取れる糸は、「繊維のダイヤモンド」とも言われる最高級品になるようです。

21世紀の森と広場では、桑の実が色づき始める5月上旬ごろからユーモラスな姿をしたクワゴの幼虫の姿を見ることができます。葉っぱを食べているものもいますが、背筋を伸ば

左がヤマママユ、右がその仲間のウスタビガの繭

して木の枝に化けているものもいます。案外うまく化けますので、木の枝だと思って触れると芋虫だった、ということがあるかもしれません。クワゴは年に2回ほど発生するので、初夏を逃してしまっても、夏にまた出会うチャンスはあります。また、冬になって葉っぱが落ちると黄色い繭を目にすることもできるかもしれません。

ただし、冬に見つけた繭はとくに中身が抜け出してしまって空っぽの状態です。

クワゴがあらわれて間もなく熟する桑の実は、おいしく食べることもできます。そんな実を味わいながら偉大な「ご先祖様」を探してみてもいいのではないでしょうか。



木の枝に化けた(つもりの)クワゴの幼虫

参考文献 日高敏隆他 (1997)「日本動物大百科9 昆虫」平凡社  
学習研究社 (2005)「日本産幼虫図鑑」学習研究社

# シャガとヒメシャガ

みどりの相談員  
のぐち のりつく  
野口 宣二

シャガ(*Iris japonica*)は、本州から四国、九州にいたる林の中で、幅の広い鮮緑色で厚みのある葉が冬でも枯れることもなく、殺風景な林内に緑をそえている。暖地では四月末、本州では五月ごろ30cm内外の花茎をのばし、5cmほどの白地に淡青色の美しい柔らかな花を見せてくれる。外花弁の中央基部には、とさか状の隆起があって、この上に美しい羽毛状の部分があり、派手に見えるが、この派手な形と彩りは日本の趣味によく合うものである。内花弁と花柱の付属体は細かくさけて、蝶がとんでいるような姿から、『胡蝶花』ともよばれる。一花の生命は一日の短命花(俗にいう一日花)であるが、分岐した花梗に次々と咲き続けるので、野趣は充分味わえる植物である。

半日陰の庭園に群植したり、生垣に沿ったところや庭石の根締など日本趣味の豊かな植物といえよう。

ヒメシャガ(*Iris gracilipes*)は、北海道の南部から本州の中部地方に見られるが、シャガとは異なった形態をしている。葉はうすく、風によってよく揺れ、草丈も30cmぐらいである。花茎も小さく5cmほどの可憐な淡紫色の小花を2~3花開く、外花弁の隆起はシャガによくしている。シャガは常緑で根茎は横にのびるが、ヒメシャガは形が小さく株立状になって冬は葉が枯れる。

シャガ類はいずれも庭園の流れや水湿のある肥沃地であれば、ほとんど放任しておいても良く生育し、特に岩組などの群落状の植込みは美しい。平鉢植えや花だんの縁どりに利用してもよい植物である。



## パークセンター・みどりの相談室

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時~12時・午後1時~3時30分

電話でも受け付けています 047-345-8738  
ハナミツバチ



# パークセンター6月・7月の催し物



講座名	日時	定員	講師	費用	受付
園芸教室 「楽しいコケ玉作り」	平成 21 年 6 月 6 日(土) 13:30 ~ 15:00	24 名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	500 円	5/15 ~
園芸教室 「家庭菜園 ~ 夏野菜の手入れ ~」	平成 21 年 6 月 14 日(日) 13:30 ~ 15:00	45 名	みどりの相談員 小林喜代次氏	無料	5/15 ~
昆虫ウォッチング (雨天時は屋内)	平成 21 年 6 月 20 日(土) 10:00 ~ 11:30	25 名	自然解説員 馬場友希氏	無料	6/1 ~
樹木ウォッチング (雨天時は屋内)	平成 21 年 6 月 21 日(日) 10:00 ~ 11:30	25 名	自然解説員 藤田泰氏	無料	6/1 ~
園芸教室 「竹垣(四ッ目)の作り方(実習)」	平成 21 年 6 月 21 日(日) 13:30 ~ 15:00	15 名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	6/1 ~
みどりの講習会 「初夏を楽しむハイドロカルチャーエコグリーン」	平成 21 年 6 月 28 日(日) 10:00 ~ 12:00	30 名	園芸研究家 中川宏子氏	1,000 円	6/1 ~
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	平成 21 年 6 月 27 日(土) 13:30 ~ 15:00	25 名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	6/15 ~
園芸教室 「花木の花芽のでき方と剪定」	平成 21 年 7 月 4 日(土) 13:30 ~ 15:00	45 名	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	6/15 ~
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	平成 21 年 7 月 11 日(土) 10:00 ~ 11:30	25 名	自然解説員 川端祥子氏	無料	7/1 ~
昆虫ウォッチング (雨天時は屋内)	平成 21 年 7 月 12 日(日) 10:00 ~ 11:30	25 名	自然解説員 吉岡明良氏	無料	7/1 ~
自然観察会 「佐々木洋のウルトラアイ!! ~ 公園にいる生き物を見つけよう ~」	平成 21 年 7 月 12 日(日) 13:30 ~ 15:30	30 名	プロナチュラリスト 佐々木 洋氏	無料	6/15 ~
園芸教室 「みどりの寄せ植え ~ 観葉植物で涼しさを演出 ~」	平成 21 年 7 月 18 日(土) 13:30 ~ 15:00	24 名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2,000 円	7/1 ~

# スダジイ

自然解説員  
藤田 泰

いえ け も いひ くさまくら  
家 には 筥 には 盛 る 飯 を 草 枕  
たび し あ れ ば しい は も  
旅 に し あ れ ば 椎 の 葉 に 盛 る

ありまのみこ 2 - 142  
有馬皇子

この詩は大和時代の西暦650年代前後、天皇をとりまく権力争いの渦のなかで、有馬皇子が謀反の罪に問われて捕らわれ、刑場に護送される途中で詠んだといわれる万葉集の詩です。

これは「家にいれば器に盛って食べる飯（ご飯）を、旅に出ていると、このように椎の葉に盛って食べる、ああ辛い旅だ。」という意味の詩なのです。（草枕は旅などにかかる枕詞です。）処刑されるのを目前にした悲しい思いのなかで詠んだ詩とは思われない表現ですが、この時代の背景や、護送される途中で詠んだ前後の詩を調べないと本当の意味は理解できないと思います。

ところで、6・7月の21世紀の森と広場は、新緑から濃い緑色に変わり夏到来の時季となりました。広場から周りの森林を見まわすと、スダジイ（椎）、シラカシ、コナラ、イヌシデなどが、濃い緑、薄緑色に盛り上がったブロッコリーのようにも見えるでしょう。この中心となっている樹木は常緑広葉樹であるスダジイとシラカシなどの高木なのです。シラカシについては第94号で紹介しましたので、今回はスダジイを紹介したいと思います。



盛りあがった樹冠のスダジイがたくさん見られます。

スダジイは、シラカシ、コナラなどと同じブナ科で、ドングリをつける樹木です。福島県から南の暖かい地方の沿岸地域に近い森林に分布（生育）しています。関東地方でスダジイが分布している地域について、千葉県立中央博物館の原まさとし先生は、1月の平均気温が2以上以上の地帯であると発表しています。

葉は薄い革のようで表面はなめらかですが、葉の裏は褐色がかったいぶし銀のような色をしています。葉の先端は尖り、縁には波状の鋸歯があります。幹の皮は黒色を帯びた褐色で縦に溝がついています。ドングリ（堅果）は総苞という皮に包まれ、熟すとその皮が三つに裂開して中からドングリが顔をのぞかせます。形は円錐状で先が尖っています。花は5月ごろ咲きますがドングリが熟するのは翌年の10月頃です。このドングリは灰汁が少ないので種子の子葉の部分はそのままでも食べられます。古代の人々にとっては大切な食べ物であったと思います。材は床柱、屋根板などの建築材。



近くから見たスタジイ（花をつけています）

家具材、椅子、箱などの器具材。その他、機械材、船舶材、下駄材、薪炭材、シイタケ原木などとして使われてきましたが、現在は、公園樹、庭園樹、生垣などとしても利用されています。

21世紀の森林の中を歩くと涼しく感じますね。これは地上に降りそそぐ太陽熱を枝や葉が森の外へ反射しているからなのです。また、森林の中では様々な木の香りがただよい爽やかな気分にもなり心がなごみますね。この香りを総称してフィトンチットと呼んでいます。このフィトンチットは、ロシアの生物学者B・P・トーキン博士が1928～30年に発見して命名したのです。フィトンチットは植物、チットは殺すという意味です。

では、なぜ、このような名まえをつけたのでしょうか考えてみましょう。植物に害虫や病菌がついたとき、植物は動物のように手や足を使って払いのけたり場所を移動して自分を守ることができませんね。そのため、植物は自ら害虫や病菌を死滅させる匂いを発散して自分の身を守ると同時に、同じ仲間の植物にも危険を知らせているのです。これがフ

家具材、椅子、箱などの器具材。その他、機械材、船舶材、下駄材、薪炭材、シイ



古代には葉をたくさんつけたスタジイの枝葉の上にも食べ物を盛って食事をしたといわれています。

イトンチットの名の起おこりなのです。私わたくし たち人間にんげんはこのフィトンチットを吸すう  
ことよってストレスの解かい消しょうや免めん疫えき力りょくをたが高めるのに大たい変へん役やく立たっていることが  
解かい明めいされています。これについては次じ回かいにでもご紹お介もしたいと思おもいます。

5月ごから8月はちはフィトンチットが最も多たく発はっ散さんするときです。スタジイをは  
じめとする様さま々ざまな樹じゆ木もくが生おい茂しげる21世紀にんの森しんと広ひろ場ばの中ちゆうを、深しん呼こ吸きゆうをしながら  
歩あいてみましょう。

シイノキには、スタジイのほかにツブラジイがありますが、21世紀にんの森しんと  
広ひろ場ばではスタジイのみが自な生いりしています。ツブラジイは暖ぬかい地ち方はうの内ない陸りく部ぶ  
の森しん林りんに自な生いりし、ドングリ(堅ま果る)が円まいので円まジイと呼ばれています。ス  
ダジイの名なは意い味みがわわかかららないいと記き述じゆつされています。

参考文献 有用樹木図説林(林木編)林 弥栄著 誠文堂新光社

万葉の花

松田 修著 芸林堂

## ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。ルールを守って楽しく過ごせるようご協力をお願いします。

### - 禁止されている事 -

- ・ 自じ転てん車しや(キックボード含む)の乗のり入いれ
- ・ ペペツツの持もち込こみ
- ・ 動どう植しつ物ぶつの採さい集じつ
- ・ 鳥とりや魚いしなどへのエサやり
- ・ 池いへの石いし投なげ
- ・ ペペツツや他たの場ば所じよで捕と獲とくした動どう物ぶつを捨すてること
- ・ テテンントト設せ営えい
- ・ 魚い釣とり(たこ糸いとを使つかったザリガニ釣とりはできできますが(テグス、釣とりざおは不可)、使つか用ようした棒ぼうやたこ糸いと、エサなどは必かなず持もち帰かえって下ください)
- ・ ココンンロロななどの火か気き類るいの使つか用よう
- ・ 人ひとに迷ま惑わくを与あたえるポポールール遊あび等ら
- ・ ゴゴルルフフククララブブの持もち込こみ
- ・ 立た入いり禁きん止し区く域いへの立た入いり
- ・ 騒さわ音おんを出だすこと
- ・ 施せ設せを傷やつつけることや汚よすこと

### - 注意してほしい事 -

- ・ 手て荷に物ぶつの放はな置おき(カラスによるイタズラや盗ぬす難がの恐おそれが有あります)
- ・ ハハチチやヘヘビビに注ちゆう意い(見みかかけけたら静しずかかにその場ばを離はなれて下ください。絶ぜつ対たいに手てや足あしで払はつたりししないで下ください。)
- ・ ラランンニニングング(園えん路ろをふふさいで走はるなど、他たの利り用よう者者の迷ま惑わくとなる行こう為ゐはご遠とん慮り下ください。また、野の草くさ園えんなど一いっ部ぶの場ば所じよではランニんグぐをご遠とん慮り頂たいでおります。)



# 夏季開園時間延長のお知らせ



7月21日(火)～8月20日(木)の間は、公園の開園、各施設の開館時間が延長されます。

施設名	利用時間	休園等
公園	午前9時～午後6時30分	12月30日～1月1日
パークセンター	午前9時～午後6時	月曜日(祝日開館翌日休館)
自然観察舎	午前9時30分～午後6時	月曜日(祝日開館翌日休館)
カフェテラス	午前10時～午後6時	月曜日(祝日営業翌日休業)
里の茶屋	午前10時～午後5時30分	水曜日(祝日営業翌日休業)
アウトドアセンター (バーベキュー場)	午前9時～午後5時30分	年末年始

キャンプ期間中は、バーベキュー場の屋根付炊事場の利用が午前10時～午後3時までに制限されます。

## ～自然観察舎・湿地の観察会のご案内～

実施時間	実施日
10:00～10:30	土曜日 日曜日 祝日
11:00～11:30	
13:30～14:00	
14:30～15:00	

【定員】先着25名  
(当日受付)  
【受付】自然観察舎窓口  
【電話】  
047-340-4140

発行日：2009年6月1日  
発行：21世紀の森と広場パークセンター  
開館：9:00～16:30  
7月21日からは  
9:00～18:00  
月曜休館(祝日開館/翌日休館)  
〒270-2252 松戸市千駄堀269  
TEL 047-345-8900  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター  
ドンちゃん・グリちゃん